

奥村組技術研究所を小学生が見学 －「土木の日」に地元小学生と交流－

株式会社 奥村組

株式会社奥村組（社長：奥村太加典）は、11月18日（月）、茨城県つくば市の技術研究所につくば市立今鹿島小学校の5年生24人と先生2人を招き、見学会を開催しました。

この見学会は、「土木の日（11月18日）」に合わせた土木学会関東支部との共催イベントとして、平成6年から毎年この時期に地元小学校を対象に実施しています。

児童たちは「土木の日」と土木技術について簡単な説明を受けたあと、構造材料実験棟や音響実験棟などの施設において体験実習を行いました。

コンクリートの実習では、薄板のコンクリートを足で踏んで折ったり、練ったばかりのコンクリートをゴム手袋に入れて手の形のオブジェを作ったりすることで、コンクリートの「強さ」や「やわらかさ」を体感しました。

熱画像の実習では、あらかじめ空洞を設けたコンクリート試験体を赤外線カメラで撮影し、その空洞が温度変化を示した画像から判別できることを体験しました。

音の学習では、ピストルの発射音を残響室と無響室で聞き比べ、音が反響したり吸収されたりする現象の違いを体感しました。

児童たちは初めて体験することばかりで終始驚きの表情を浮かべていましたが、質疑応答の時間では、「ダムやトンネルはどれくらいの期間で完成するのか？」や「これまでの研究で一番難しかったことは？」など小学生ならではの質問のほか、「これからどのような研究をしていきたいか？」といった研究開発の本質に迫る鋭い質問もあり、今回の見学会を通して土木・建築技術に深く関心を持ったようでした。

- 写真① 土木の日記念写真
- 写真② 土木の日について説明
- 写真③ コンクリートでオブジェを作製
- 写真④ 赤外線カメラの画像から空洞を判別
- 写真⑤ 音響施設で音の違いを体感

以 上

<お問い合わせ先>

(株)奥村組 技術研究所 担当：今泉和俊 (TEL：029-865-1751)



写真① 土木の日記念写真



写真② 土木の日について説明



写真③ コンクリートでオブジェを作製



写真④ 赤外線カメラの画像から空洞を判別



写真⑤ 音響施設で音の違いを体感